



自慢の演藝や練習の成果を披露！ 高齢者ふれあい演芸会

第22回高齢者ふれあい演芸会が2月16日、熊石青少年スポーツセンターで開かれました。交流を深めるため八雲老人クラブ連合会の会員も参加し230人余りの高齢者やボランティアが参加しました。

参加者は日頃から練習している踊りやカラオケなど39人が披露。ライトに照らされ、華やかな舞台衣装で熱唱、熱演する姿に、観客席からは盛んな声援と拍手が送られていました。

ニュースポーツ「キンボール」を楽しむ！ 地域体力づくり教室

ニュースポーツの普及促進などの拡充を目的とした地域体力づくり教室の今年度第1回目、2月19日雲石小学校体育館で行われ児童や教師が「キンボール」を体験しました。キンボールはカナダ生まれのスポーツで、直径およそ1mの軽くて大きなゴムボールを床に落とさないよう4人一組、3チームで行う対戦ゲームのため、チームワークが重要なスポーツです。

スポーツ推進委員から説明を受けた後、児童らは早速チームに分かれ対戦。協力しながらボールを追い、体育館中を駆け回る元気な姿が見られました。



巧みな人形さばきに魅了！

人形劇講演会

3月3日、熊石総合支所で人形劇団「ひよっこ」による人形劇「うさぎとかめ」や「おむすびころりん」などが公演されました。

熊石地域の幼児や小学生を中心にその保護者など約30人が鑑賞。子どもたちは、劇団員の巧みな人形さばきに魅了され、真剣な眼差しで見入っていました。人形劇のほかにも、パネルシアターなども実施されて楽しい1日を過ごしました。



もしものときに！

東町四区町内会が災害に備え各世帯にグッズを配布

3月17日、東町四区町内会が災害の備えとして、「非常用持ち出しセット」（軍手や懐中電灯、手回し充電式ラジオ（携帯電話なども充電可能）など全8点）を町内会の全戸に配布しました。

この取り組みは、町内会・ご近所どうしお互いに助け合うことも大事だが、まずは自分の身を守る防災意識を高めてもらうことが大事ということで、総会で承認され実現しました。

東町四区町内会の会長 工藤信一さんは「活用されないことが一番だが、万一の備えとして役立ててほしい」と話していました。

